



ひこばえ

山茶花は 咲く花よりも



散つてゐる

作者 細見 綾子

朝夕めっきり冷え込むようになり、北国から早くも冬の便りが聞こえてきた今日この頃、保護者、並びに、地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか。先日の文化祭には、コロナ禍にもかかわらず多数ご来校・ご観覧くださりありがとうございました。

さて、11月に入りました。今年も残すところ2ヶ月となり、年末のカウントダウンも始まったようです。生徒たちは、中間テストが終わったと思ったら、月末の期末テストに向けて、再びギアチェンジをしなければならない時期となっています。ご家庭でも励ましのお声かけをお願いいたします。

文化祭&合唱コンクールも実りの秋!

2学期最大の行事『文化祭&合唱コンクール』が過日成功裡に終わりました。実りの秋を実感するすばらしい内容でした。生徒たちはわずかな準備・練習期間にも関わらず、見事に演じてくれました。

とはいえ、コロナ禍での開催となり、保護者の皆様には、大変ご心配をおかけしました。来年度は制限なしで開催できることを願うばかりです。

そんな感動と喜びを与えてくれた文化祭&合唱コンクールを振り返ってみましょう。



【プロローグ】

テーマ“透明”(透かすと向こう側の景色が見えること)を全校生徒に問いかけてくれました。澄み切った心・ピュアな心・清らかな心を訴えたかったのですね。

2階の渡り廊下に展示されたスタンドグラスもグッドアイデアでした。

【合唱コンクール(7年)】

どのクラスも7年生とは思えない大人びた声でした。みんなが一つになって歌い、伝えようとする気持ちが感じられました。練習への取組も大変良かったようです。そんな中、1組が見事、グランプリを獲得し、合唱祭への出場を果たしました。

【合唱コンクール(8年)】

自力は十分にある学年です。本番では声も出ました。音程もとれていました。しかし、合唱には、表現力・ハーモニー・響きが必要で、8年生としては物足りませんでした。楽譜に忠実に、詩の意味を理解し、みんなの心をついに、1ヶ月間じっくり歌い込むという取組が来年への課題です。来年こそ、全クラス金賞を!

【合唱コンクール(9年)】

全クラス金賞、おめでとうございます。どのクラスがゴールデングランプリをとってもおかしくない出来でした。そんな中、春を見事に演じ、表現した3組のきれいなハーモニーとピアノとのマッチングが一枚上だったということでしょう。

なお、1組と2組には、「特別賞」を授与しました。本当に僅差だったのです。

【8年学年発表】

大いに楽しませてくれました。8年生らしい無邪気さや朗らかさが一つ一つの演出に表れていました。ICTを活用しての表現は創意工夫が「A」です。舞台道具・絵の製作も大変でしたね。来年のステージが益々楽しみになりました。

【9年学年発表】

さすがの9年生です。難しい演技を見事にこなしていました。劇あり、群読あり、ダンスあり、ミュージカルあり、聴衆を引きつける圧巻のステージでした。

9年生はまさに、岩国ひがし学園生のゴールの姿を演じてくれました。

【教科作品展示】

理科・家庭科・美術科等、自由研究や日頃の授業での取組を展示しました。個性的な作品ばかりで、見応えがありました。

7年生の学年展示(モザイクアート)はとてもまとまりがあり、遠くからきれいに見えました。学年の雰囲気そのものですね。

【英語暗唱・弁論】

第7地区の英語暗唱・弁論大会に出場した2名の発表でした。さすが、練習がしっかりなされており、発音がきれいでした。

日本語訳があると、より伝わるのでしょうか、生徒の皆さんは日頃の授業の成果で、十分に理解できたことでしょう。

【吹奏楽部プレミアムコンサート】

20分ではとても足りないくらいの演奏でした。もっと聴きたかったですね。さすが、県コンクール金賞獲得の演奏です。

少人数ながら、日頃から一生懸命に練習に励んだ成果ですね。9年生の皆さん、3年間お疲れ様でした。

【エピローグ】

文化祭を振り返っての映像を介して、テーマ“透明”を演じ切りました。

約1ヶ月に渡る準備や練習を通して、みなさんの澄み切った心を感じ取ることができました。何事も、澄んだ心で取り組むことが大切だということですね、。

【生徒会役員、実行委員、放送委員、合唱委員】

時に前に立つリーダーとして、時に縁の下の力持ちとして、裏方として、文化祭&合唱コンクールの企画・運営に携わってくれました。お陰で、各プログラムがスムーズに進行し、大いに盛り上がりました。家に持ち帰って準備した人もいました。また、朝早く来て準備した人もいました。本当によく頑張ってくれました。お疲れ様でした。

【文化祭ベストショットの中から】



9年3組の合唱



8年ステージ発表



9年ステージ発表



全校展示



吹奏楽部プレミアムコンサート



表彰式(金6・銀3)

岩国市・和木町中学校合唱祭(ご案内)

9年3組(GG)と7年1組(G)が出場します。

日時 11月5日(金)

7年:午前の部、9年:午後の部

場所 シンフォニア岩国 コンサートホール

その他 保護者の皆様は観覧できません。

後日、アイキャンで放映されます。

写真の販売もあります。

※学校も写真は撮ります。

合唱の魅力

合唱が持つ最大の魅力は、やはり「たくさんの声を重ねることによって生まれる音色の美しさ」です。

一人一人の歌声は小さくても、たくさん集まって溶け合うことによって広がりや深みのある響きが生まれるのです。

「倍音」という言葉がありますので、ぜひ調べてみてください。

心が温まるお話(ディズニーランド)

以前、ディズニーランドについて紹介したことがあります。それは、カストーディアルという仕事(掃除)のことですが、覚えていますか? 夢の国ディズニーランドにはたくさんのエピソードや心温まる話がありますので1つ紹介します。

コロナ禍で、1年余り賑わいがなかったディズニーランドですが、ようやく入場者数を増やしていくようです。夢の国の復活ですね。



東京ディズニーランドにある若い夫婦が訪れました。

そしてディズニーランド内のレストランで彼らは「お子様ランチ」を注文したのです。

もちろんお子様ランチは9歳以下とメニューにも書いてあります。

子供のいないカップルに対してはマニュアルではお断りする種類のものでした。

当然の如く、「恐れ入りますが、このメニューにも書いてありますが、お子様ランチはお子様用ですし、大人には少し物足りないかと思われそうですので・・・」と言うのがマニュアルです。

しかし、アルバイト(キャスト)の青年は、マニュアルから一歩踏み出して尋ねました。「失礼ですが、お子様ランチは誰が食べられるのですか?」・・・

「死んだ子供のために注文したくて」と奥さんが応えました。

「亡くなられた子供さんに!」と、キャストは絶句しました。

「私たち夫婦には子供がなかなか授かりませんでした。

求め続けて求め続けてやっと待望の娘が産まれましたが、身体が弱く一歳の誕生日を待たずに神様のもとに召されたのです。私たち夫婦も泣いて過ごしました。

子供の一周忌に、いつかは子供を連れて来ようと話していたディズニーランドに来たのです。

そして、ゲートのところで渡されたマップに、ここにお子様ランチがあると書いてあったので思い出に・・・」そう言って夫婦は目を伏せました。

キャストのアルバイトの青年は「そうですか。では、召し上がって下さい」と応じました。

そして、「ご家族の皆さま、どうぞこちらの方に」と四人席の家族テーブルに夫婦を移動させ、それから子供用の椅子を一つ用意しました。

そして、「子供さんは、こちらに」と、まるで亡くなった子供が生きているかのように小さな椅子に導いたのです。キャストは「ご家族でゆっくりお楽しみください」と挨拶して、その場を立ち去りました。

若い夫婦は失われた子供との日々を噛みしめながら、お子様ランチを食べました。

このような行為はマニュアル破りの規則違反です。

しかし、東京ディズニーランドでは先輩も同僚も彼の行動を咎(とが)めません。

それどころか彼の行為はディズニーランドでは賞賛されるのです。

マニュアルは基本でしかありません。マニュアルを超えるところに感動が潜んでいます。→私たちの生活の中にも「マニュアル」がありますが、考えさせられますね。



お詫びと訂正

前号で、新入大会の結果をお知らせしましたが、一部誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

【柔道 個人の部 55kg級】

塚田蓮太くん 第3位 → 第1位 (優勝)

おめでとうございます!

新スポット(ここはどこ?)



校舎内に新しい掲示が加わりました。どこにあるでしょうか? 読む価値がありますよ!

『七五三』の由来



七五三は昔からある日本の伝統行事です。子どもの健やかな成長を祝い、祈願する七五三は、その名の通り3歳、5歳、7歳で行われます。

七五三の由来には諸説あり、平安時代の頃から宮中で行われていた3つの儀式が基になっているそうです。現代に比べて医療の発達が未熟で衛生面もよくなかった昔は、子どもの死亡率がとても高く「7歳までは神のうち(神の子)」として扱われ、7歳になって初人として一人前であると認められていました。

子どもが無事に育つことは大きな喜びであり、親として健やかな成長を願わずにはられないものでした。よって、3歳、5歳、7歳の節目に成長を神様に感謝し、お祝いをしたことが七五三の由来とされ、やがて江戸時代に現在の七五三の原型として武家や商人の間に広まったといわれています。

それが明治時代には「七五三」と呼ばれて庶民にも広まり、大正時代以降に現在のような形ができあがったとされる説が有力とのことです。

七五三に欠かせない千歳飴は、江戸時代に浅草の飴売りが、子どものお宮参りのお土産として考案したのが始まりと言われています。昔は子どもが病気になることが多かったので、長生きできるよう長〜く伸ばした飴を作り、千年飴、寿命飴として売り出しました。その後「千歳飴」と呼ばれるようになり、七五三に用いられるようになっていきました。

千歳飴の袋には、鶴亀、松竹梅、翁と媪など、長寿にまつわる縁起の良い絵柄が多くみられます。また、紅白の飴は年の数だけ袋に入れると良いとされています。



11月（霜月：November）行事予定



日	曜	11月前半の行事	日	曜	11月後半の行事など
1	月	教育実習Ⅲ（～19日） ☆南グランド・新駐車場運用開始	16	火	小中合同授業研修会 ※部活動中止日 下校 14:20
2	火	地域一斉あいさつ運動	17	水	テスト発表
3	水	祝 文化の日	18	木	
4	木	東小・中音楽交流会 生徒集会	19	金	※部活動停止（～29日）
5	金	岩国市・和木町中学校合唱祭 ※9の3、7の1が出演 『津波防災の日・世界津波の日』	20	土	授業参観（9年は進路説明会） 小中合同引き渡し訓練 職員会議 ※下校 11:40
6	土		21	日	
7	日		22	月	小雪
8	月		23	火	祝 勤労感謝の日
9	火	小中高英語教育推進発表会 ※部活動中止日 下校 15:00	24	水	期末テスト① ※下校 15:40 小中一貫教育推進委員会
10	水	※部活動中止日 下校 15:10	25	木	期末テスト②
11	木		26	金	期末テスト③ 生徒会専門委員会
12	金		27	土	
13	土	総合文化祭岩国大会作品展（～14日） 総合文化祭岩国大会（要：弁当） ※部活動中止日	28	日	
14	日	※7・8年下校 13:05 9年下校 16:10	29	月	期末テスト④ ※下校 12:30
15	月	振替休日	30	火	期末テスト⑤

